

## 日本語・日本文化研修留学生 推薦様式作成要領

1. 本様式は、選考資料として使用するもので、明確に記入すること。記入漏れがある場合は、不採用となることがある。
2. 本様式は推薦者1名に対し1枚作成すること。また、個人の封筒には封入せず、公文書の後に全員分を添付すること。
3. 大学番号は、平成16年8月19日付け16文科高第373号「平成17年度国内採用による国費外国人留学生（学部留学生）の募集について（依頼）」に添付の大学番号一覧及び国籍コード表を参考に記入すること。
4. 「氏名」：ローマ字大文字で申請書の記載方法順（パスポートの表記と同一）によって明確に、1ブロックに1文字を記入すること（カンマ、ピリオドも1文字とする）。
5. 「年齢」：渡日する年度の4月1日現在の年齢を記入し、性別は該当する方を印で囲むこと。
6. 「住所」：現に居住する場所（戸籍、勤務先は不可）を日本語表記で記入することとし、都市（又は州、県）名まで記入すること。
7. 「在籍大学」：日本語表記とし、渡日する年度の10月1日現在の在学年次を必ず記入すること。在学年次が4年を越えている場合には、その理由（夜間部学生で在学大学の卒業年限が 年のため、留年による等）を備考欄に記入すること。修学年数は小学校から渡日する年度の10月1日までの在学年月（見込み）を記入すること。また、帰国時点においても、大学に在籍する意志があるか否かを本人に確認の上、その旨備考欄に記入すること。
8. 大学1年生は対象外となることを注意願いたい（ただし、既卒後の再入学者を除く）。
9. 「日本語学習歴」：日本語学習年数と学習機関を記入すること。
10. 「渡日指定日」：受入れ大学で定めた渡日時期を記入すること。
11. 「語学力」：総合評価で「優」「良」「可」の3段階で表示し、不明、不可のときは空欄のままとする。なお、80点以上（優）、70～79点（良）、60～69点（可）を目途とする。また、その他の語学力があれば、記入すること。
12. 「在学資格」：各々の学校の定める呼称による在学資格を記入すること。
13. 「指導予定教官」：職名、氏名（代表者）、所属を記入すること。
14. 「推薦理由」：簡潔にまとめて、欄におさまるよう記入すること（別添、別紙は付けないこと）。
15. 「備考」：他大学との重複申請、同時期に募集される大使館推薦、及び（独）日本学生支援機構が募集等を実施している「短期留学推進制度」との併願は認めないこととしているので、推薦者に該当者が無いよう十分注意すること。また、研修修了後に所属大学に復学する意志の有無も確認し、必ず記入すること。
16. 本様式は、下記URLの「最近のトピックス」にアップロードする予定であるので必要に応じて、適宜ダウンロードし利用すること。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ryugaku/main4\\_a3.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/main4_a3.htm)